

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公表番号】特表2008-505277(P2008-505277A)

【公表日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2007-519471(P2007-519471)

【国際特許分類】

F 0 4 B 39/00 (2006.01)

F 1 6 C 32/06 (2006.01)

F 1 6 C 17/02 (2006.01)

【F I】

F 0 4 B 39/00 1 0 3 Q

F 1 6 C 32/06 Z

F 1 6 C 17/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月20日(2008.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転する圧縮機を担持する圧縮機シャフトの振動を軽減するための軸受装置であって、前記シャフトを支持するための第 1 の軸受と、前記シャフトに加わるモーメントおよび振動方向に対抗する付加減衰を発生させるための、前記第 1 の軸受からアウトボード側に離間する第 2 の軸受とを備え；

前記第 1 および第 2 の軸受は、流体静圧軸受または流体動圧軸受である；
軸受装置。

【請求項 2】

回転する圧縮機を担持する圧縮機シャフトの振動を軽減するためのアウトボード側の軸受装置であって、前記回転する圧縮機の各端部で前記シャフトを支持するための一対の第 1 の軸受と、前記シャフトに加わるモーメントおよび振動方向に対抗する付加減衰を発生させるための、前記第 1 の軸受からアウトボード側に離間する一対の第 2 の軸受とを備え；

前記第 1 および第 2 の軸受は、流体静圧軸受または流体動圧軸受である；
軸受装置。

【請求項 3】

前記第 2 の軸受は、前記第 1 の軸受の芯出しをした後に調節可能である；

請求項 1 または請求項 2 に記載の軸受装置。